



平成29年9月21日

### 地域のすばらしさ発見

絶好の日和に恵まれ、9月15日（金）校区内オリエンテーリングを行いました。この行事の主な目的は、「校区内の史跡や公共施設を見学することによって、地域への愛着をもつ」「4年生がリーダーとなることによって、上学年としての自覚と責任をもつ」の2つです。4年生の子供たちは1学期からこつこつと準備を進めてきました。何度も現地に出向き、コースやポイントを選定しました。下級生に地域のよさを分かりやすく伝えようと、ポイント毎の課題も工夫しました。当日は、リーダーとして班のメンバーを優しく誘導しました。帰校したときには、「リーダーは大変だった」と、何人もが口にしていました。しかし、その表情からは、やり遂げた幸せが溢れていました。立派に役目を果たし、リーダーの責任の重さ、やりがいを感じてくれたものと確信しています。今回の経験を生かして、これからの学習に一層積極的に取り組んでくれるものと思います。今後の活躍が楽しみです。

1～3年生の子供たちもリーダーを信頼し、協力して活動しました。一生懸命に歩き通し、帰校したときには、疲れて声も出ない様子でした。それだけに、やり通した充実感を感じていたものと思います。また、校区の史跡や公共施設を見学し、そのよさを実感してくれたようです。ますます自分が住む地域のすばらしさを感じ、誇らしく思ったに違いありません。

見守り隊の方々、PTA役員の方々には、道中の交通安全のご指導をしていただき誠にありがとうございました。事故もなく無事終えることができましたこと、皆様のおかげと感謝しております。また、施設を開放し、ご協力いただきました関係各位にも深く感謝いたします。皆様のご協力なくしてはできない貴重な体験をさせていただきました。やはり、地域の一番のすばらしさは、住民の方々の温かい心です。いつも親身になってお世話いただき、子供たちは幸せです。



〈横断歩道での指導〉